

国立大学法人小樽商科大学経営協議会学外委員からの提言・質問等及びそれらに対する大学側の対応・回答

整理番号	名称	開催日	審議事項等	経営協議会学外委員からの意見	意見に対する本学に対応状況	年度
1	平成25年度第1回経営協議会	平成25年5月27日	新たな教員の定員管理の方針及び教育・研究組織について	新たな教育研究組織・教育課程を検討することであるが、例えば、理系の科目を削減して、社会科学分野の科目を充実させることも考えられるのではないかと。	教育研究組織やカリキュラム改革を検討するために、新たに将来構想委員会を設置した。平成26年6月までに、新たな教育研究組織・教育課程を検討し、全学での議論をまとめるものである。	25
					平成26年6月に、平成27年度小樽商科大学グローバル・マネジメント・プログラム～北海道発のグローバル教育～に関する骨子(案)を取りまとめ、将来構想委員会で議論を重ね、平成27年度から小樽商科大学グローバル教育グローバルマネジメント副専攻プログラムを実施することを決定した。	26
					ビジネス創造センター、教育開発センター、国際交流センターの機能を融合的に発揮するため、グローバル戦略推進センターを設置することを決定し、平成27年度から運用している。ただし、平成27年度は移行期間と位置づけ、平成28年度から本格的に稼働することとした。	26
					新たな教育研究組織として平成27年度に設置したグローバル戦略推進センターを本格的に機能するべく、将来構想委員会において、センター各部門の機能等について議論を重ね、さらに国際交流に関しては、新たに国際連携本部を設置することを決定し、ともに平成28年度からの本格稼働に至った。	27

2	平成25年度第2回経営協議会	平成25年6月17日	学生の飲酒問題について	学生の飲酒事故が2年続けて発生しており、遺憾に感じる。このままでは経営責任を問われかねないので、厳しい危機意識を持って対応していただきたい。	事故の発生後、緊急学生団体連絡会を開催し、注意喚起を行った。さらに、未成年対象の飲酒事故防止に関する説明会、保護者連絡会においても注意喚起を行った。また、リーダーズ・アッセンブリーにおいて、専門家による講演を行った。	
3	平成26年度第1回経営協議会	平成26年5月26日	飲酒事故に係る和解について	今回の事故は大学の信用失墜に繋がりがかねない事案であるため、継続的に再発防止の取り組みを行うべきである。	平成27年度から、全学生から飲酒に関する誓約書を聴取し、また、入学式において飲酒に関する講演を実施するなど、再発防止に継続的に取り組んでいる。	
3	平成27年度第4回経営協議会	平成27年11月24日	国立大学法人を取り巻く最近の動向について	過去に東京試験場を廃止した経緯があるが、より多様な受験生確保のために、北海道外の試験場設置を検討する必要があるのではないか。	小樽以外の試験場設置について検討し、毎年高校訪問を行い担当教諭と意見交換を重ねてきた東北地方に、本学に対するニーズが確認されたことや、入試改革に対する文科省の強い要望を考慮し、平成29年度入試において、青森試験場を開設することとした。	27